

令和6年度 自立支援型ケア会議とケアプラン点検研修 報告書

主催：一般社団法人徳島県介護支援専門員協会 講師派遣養成委員会養成班

開催日：令6年10月19日（土） 13：00から16：45

場所：教育会館 4階会議室

参加者：21名

【研修内容】

○開会の言葉：中健太郎副理事長

○自立支援型ケア会議とケアプラン点検の概要～中健太郎講師による講義～

自立支援型ケア会議とケアプラン点検の必要性や、なぜ行われるようになったのかという根拠について指針をもって講義。また役割や、ポイントについての説明が行われた。

○アドバイザー演習～石田直子講師による講義～

助言のポイントについて講義。事前課題で事例の読み込みをしてきてもらっているので、それをもとに質問や助言を各自考え、GWにて共有を行った。

○ケアプラン点検者の演習～位頭薰講師による講義～

ケアプラン点検についてそれぞれの着目点を整理しながらの講義。その後実際にケアプラン点検でどこを確認するのかを個人ワークとGWを行った。

○閉会の言葉：位頭薰副理事長

【考察】

ついつい面倒であると思ってしまいがちである、自立支援型ケア会議とケアプラン点検はなぜ必要であるのか。適正に行われることで得られるメリットは何かを学ぶことが出来た。

ケアマネジャーは担当利用者を『自分の利用者である』と思い込んでしまいがちであること、またケアマネジャーは作成したプランを見られることに抵抗があるところにも突っ込んでの研修であった。そのため、自立支援型ケア会議やケアプラン点検にて得られたアドバイス等は利用者支援へつながるのであると学べた一日となつた。

講義を踏まえて、後半の演習を迎えた。アドバイザーの演習では簡潔で相手が答えやすい質問を行うにはどうしたらいいのかというGWを行った。そして提出者役の石田講師に直接質問を行い、回答をもらう実演を行った。またその後アドバイスを実際に行つた。

最後の演習では実際にケアプラン点検を行つた。模擬のケアプランを用いて1票から3票に分けて、根拠をもつて、何が必要で何を伝えるべきかを言語化していく演習となつた。

今後も研修を通して、実際の業務へ生かすのはもちろんであるが、適切な指導が行えるアドバイザーや点検者を増やす過程となる研修会を目指していきたい。

